土岐市地域公共交通計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果について

	意見	市の考え
1	施策を見るとバス利用の充実に偏っているように見受けられますが、人口が減っている中では無理があると思います。バスの便数が少ないことが一つの要因となっていると思いますので、移動手段の多様化も検討いただきたいです。シェアサイクルやカーシェア、ライドシェアなどです。住民の自助努力で移動できる手段が必要だと思います。	人口減少が進む中、バスなどの既存の公共交通の維持・確保に加え、多様な移動手段の活用も重要であると認識しております。施策2-2にありますように、ライドシェア等、本市に適した新たなモビリティの導入について検討していくとともに、地域での移動を支える新たな担い手の発掘・確保にも努め、持続可能な移動手段の確保に繋げてまいります。
2	市民バス肥田線、JRを利用しています。自動車免許を所有しておりますが、運転できない状況にあるため、公共交通機関が移動手段となります。医療センターの関係でバスの本数が少し増えましたが、「バスを主な移動手段として便利に活用できる」と言うには程遠い状況です。希望としては、せめて1時間に一本バスが通っていてほしいです。自動運転のバスや、公共ライドシェアの促進をお願いします。	バスの運行本数の増加については、運転士不足や保有車両数に限りがあることなどから、課題がある状況です。このため、施策3－1に位置付けた運転士確保に向けた取組を進め、地域公共交通の維持・充実を図ってまいります。また、これまでもバスを補完する交通手段として、自動運転バスの実証運行やAIデマンド交通の実証実験を実施してきました。今後も、施策2－2に基づき、地域の実情や住民の移動ニーズを踏まえ、公共ライドシェアなども含めた適切な輸送サービスについて研究してまいります。